

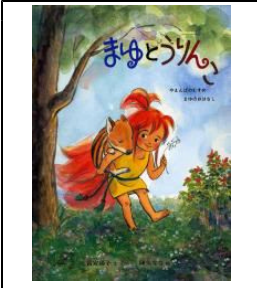
「パンちゃんのおさんぽ」どいかや



主人公のパンダのパンちゃんはでんぐり返しが得意で、「でんぐるでんぐる」という言葉とともにどんどん進んでいきます。子どもにはこのリズム言葉が楽しく気持ち良く感じられるでしょう。パンちゃんがでんぐり返しをするたびに体中に何かがかっついてきます。何がかっついたのかはお楽しみ。

* B L 出版 * B 5 * 1 9 9 7 年 4 月

「まゆとうりんこ」富安陽子・隆矢奈々



作者2人の人気作シリーズの新作です。ある日、まゆが林の中でうりんこのぼうやに出会いました。どうやらうりんこのぼうやはお母さんとはぐれて迷子になったようです。まゆはお母さんの代わりになって、おりんこのぼうやのお世話をしますが…。一体どうなるでしょう？文と絵の良さをどうぞ。

* やまんばのむすめまゆのおはなし * 福音館書店 * B 5 * 2 0 1 3 年 4 月

「いぬがかいたかったのね」サトシン・細川貂々



主人公の男の子は犬を飼いたくて仕方ありません。ある日散歩をしていると石につまずき、そこにはワラが…。飛んできたアブをワラにくくりつけて歩いていると…。子どものカエルとアブを交換することになり、次はカエルとカメを交歓し…。現代風「わらしべ長者」のようなお話で楽しさいっぱいです。文を書いたサトシンさんならではの展開の意外さが魅力。

* 集英社 * B 5 * 2 0 1 3 年 3 月

「くもくん」いとうひろし



だんだん暖かくなっていく季節にぴったりの作品です。晴れた日、ふかふかと空に浮かぶ雲をのんびりながめっていると雲はさまざまに形を変えて見えます。ライオンだと思ったら、今度はワニ！そして大きな馬にも変身します。個性をテーマにした作品で、空に浮かぶ雲の気持ちを繊細に描いている1冊。

* いとうひろしの本 1 * ポプラ社 * A 4 * 1 9 9 8 年 1 0 月

「みーんないすのすきまから」マーガレット・マーヒー



作者の遊び心がすみずみまでちりばめられた楽しい作品です。無くした車の鍵を探しに、いすの隙間に手を入れたことからお話がふくらみどんどんおもしろくなっていきます。鍵は見つからない代わりにゆかいな物が登場。想像する楽しさを与えてくれます。ファンタジーの偉大な作家のお楽しみください。

* フレーベル館 * B 4 * 2 0 0 7 年 1 2 月